

**第 2 回**  
**第 5 次沼津市総合計画の策定に係る**  
**地域別会議（ワークショップ）**  
**開催結果報告**

目 次

I	会議の概要	1
	会議内容	1
II	各グループの意見	2
1	北部地域	2
2	中央地域	5
3	西部地域（Aグループ）	8
4	西部地域（Bグループ）	10
5	南部地域（Aグループ）	12
6	南部地域（Bグループ）	15

# I 会議の概要

## 会議内容

日時	令和元年 11 月 10 日（日） 13：30～16：00	北部地域、中央地域
	令和元年 11 月 24 日（日） 13：30～16：00	西部地域、南部地域
場所	沼津市民文化センター 第2練習室	
内容	1 開会 2 事務局説明（会議の進め方） 3 地域別ワークショップ 4 地域別発表 5 全体まとめ 6 閉会	
会議形式	グループ別ワークショップ	北部地域：1グループ 中央地域：1グループ 西部地域：2グループ 南部地域：2グループ

## Ⅱ 各グループの意見

※ 取り組みの主な主体となる者

◇ 行政機関

◇ 民間事業者

◇ 市民（自治会・コミュニティ等）

### 1 北部地域

#### 地域づくりのキャッチフレーズ

新たな魅力の宝庫 子どもから高齢者まで 歩いて楽しい

住みやすさを増し活力のある安心の街！ 未来永劫進化する北部地域

#### まちづくりの方向

##### ①自然・歴史を生かしたまち

〈自然〉

◇ 門池～大岡間の水路を利用した水回り散策やウォーキングのコースを整備する

◇ 門池公園をメインにした散歩（ハイキング）コースの整備やイベントの開催

◇ 高尾山を巡る周辺コースづくりを進める

◇ 富士山よりも愛鷹山に視点を置いたまちづくりを進める

〈歴史〉

◇ 歴史巡り（ウォーキング）の推進

◇ 明治史料館と高尾山古墳資料館の充実（ボランティアガイド）

◇ 郷土の偉人や宝について語り継ぐ

〈地域の宝〉

◇ 地域の宝の掘り起こしと活用を図る

##### ②住みやすいまち

〈公共交通〉

◇ 交通手段を改善する

◇ 管内基点間の交通網を整備する→民間との協調（病院、大岡駅、ららぽーと）

◇ バス路線の乗り継ぎができるようにする

#### 〈道路整備〉

- ◇◇住宅内私道を整備する
- ◇東西を繋ぐ生活道路の整備や結節利便性の向上を図る
- ◇東西道路を整備する
- ◇整備計画を計画で終わらせず実行する
- ◇道を広く、新しくする

#### 〈住宅〉

- ◇市街化調整区域の住宅化を進める

#### 〈下水道〉

- ◇下水道を整備する（JR 東海道線～御殿場線間）

### ③活力のあるまち

#### 〈イベント〉

- ◇楽しむスポーツでグループ作り→（人との関わりにつながる）
- ◇愛鷹公園や大岡グラウンドで多くの人が集まるスポーツイベントを開催する
- ◇高校生が参加するイベントを企画する
- ◇積極的にイベントを協賛する（防災、スポーツ・文化イベント）
- ◇企業誘致で新たな雇用をつくる
- ◇パンマルシェ等のイベントを開催する
- ◇（公園含む）イベント会場の駐車場を確保する

#### 〈産業〉

- ◇産業立地ゾーンを明確にする

#### 〈公園等の経営〉

- ◇道の駅を整備する
- ◇公園管理事業のマネジメント化を進める
- ◇公園管理の民営化を進める
- ◇公園への IT 化の推進や民間との連携による若い世代の取り込み

### ④安全・安心なまち

#### 〈道路歩道〉

- ◇歩道地図を作成する（市民と協同で）
- ◇道路を整備する（旧国一～414）
- ◇電柱を地中化して道路の幅員の確保や景観の向上につなげる
- ◇大岡駅や各小中学校へ向かう歩道を整備する
- ◇歩道、通学路、自転車専用レーン等を整備する

#### 〈空き家・空地〉

- ◇空き団地マンションのリノベーション
- ◇空き家・空地の災害時利用
- ◇空き家・空地の活用に向けた税制面での優遇を図る
- ◇空き家地図の作成や市による撤去計画の策定

〈防犯・防災〉

- ◇小学生帰宅時の警察の巡回
- ◇消防団や自主防災活動についてPRする
- ◇コミュニティ活動を通じた情報伝達力の維持（防災視点も含む）
- ◇個人の防災意識の向上

## ⑤子育てしやすいまち

〈学校整備〉

- ◇より良い学校の整備を進める

〈公園〉

- ◇北部地域の西側に（東沢田以西に公園なし）集える公園を整備する

〈子育て世帯のニーズ〉

- ◇各家庭のニーズに対応した子育ての支援
- ◇習い事（クラブ等）の送迎支援

## ⑥コミュニケーションのあるまち

〈コミュニティ活動〉

- ◇門池清掃でコミュニケーションを図る
- ◇コミュニティ活動の推進やカフェ、サロンなどの高齢者の居場所づくり
- ◇学習会を通じたコミュニティづくり
- ◇地域の祭りなどに企画から参加することで近隣との繋がりができる（特に学生の参加を促したい）
- ◇地区で定期ワークショップを開催する
- ◇三地域（金岡・大岡・門池）の定期的な会合（連合自治会、コミ）で意識の統一を図る

〈集合住宅〉

- ◇アパート、ハイツ、マンション等の家庭の自治会活動への参画と連携を促進する（コミュニティの多様性につながる）
- ◇賃貸マンションの人たちとのコミュニケーションを図る

## 2 中央地域

### 地域づくりのキャッチフレーズ

海・山・川の幸 人にやさしく きれいでにぎわいのある沼津のかお

(キーワード)

◇人にやさしい	◇にぎわい	◇文化と自然に恵まれたまち	
◇山・海・川豊かなくらし	◇山・川・海そしてうちの街	◇綺麗な街	
◇調べて楽しい街	◇かお	◇にぎわい機能	◇中心
◇豊かな自然と心やすらぐ町	◇体感できる街	◇穴場な街	
◇沼津、自(然)・食(事)・優(やさしい) 沼津のへそ			

### まちづくりの方向

#### ①海・山・川の豊かな自然と市の「かお」にふさわしい にぎわいのあるまち

- ◇街全体の整備（アーケードなど、暗くて歩きたくない）
- ◇香貫山の山頂の眺めはすばらしいので、三島のスカイウォークのようにもっとPRして交流人口を増やす
- ◇子持川などの周辺を水に親しめる公園にする（魚の放流やベンチの設置など）
- ◇地域をもっと知る
- ◇地域の行事に常に興味を持つ
- ◇市民自身が積極的にイベントに参加する心構えを持つ
- ◇シャッター街を人々が集まれるような場に整備する
- ◇空店舗のリノベーションを推進する
- ◇家賃や地代を自発的に値下げする
- ◇各商店が連携したイベントなどを開催する
- ◇香貫山ふもと周辺に食料品などの買い物ができる店を誘致したい
- ◇行政と事業者の連携推進（現状では行政まかせが多いと感じる）
- ◇史跡ルート、自然ルートを回れる循環バスの運行
- ◇沼津港の観光客を周遊させることで活性化に繋げる（駅方面から港湾に向けていろいろな店舗があるとよい）
- ◇公共施設の運営面での民間企業との連携
- ◇「花」のある街並みで街をきれいにする

- ◇市営球場や北公園を使ったイベントの開催
- ◇インバウンドの取り込み

## ②生活の利便性の高いまち

- ◇公共交通の案内を来街者にとってもっと分かりやすいものにする
- ◇小型コミュニティバスを運行する
- ◇沼津港と駅を結ぶモビリティの整備（モノレールなど）
- ◇公営駐車場を整備する
- ◇鉄道高架化に伴う南北道路の整備
- ◇バスの路線が多く充実している一方で料金が低い

## ③高齢者や子どもにやさしいまち

- ◇バリアフリー化を進める（ベビーカーで歩きにくい）
- ◇高齢者や小さい子どもでも安心して歩ける歩道と街灯の整備
- ◇免許返納者への代替移動手段の確保などの対応を進める
- ◇市民プール（中瀬）を幼稚園の小児も利用できる施設にする
- ◇横断歩道、地下道を高齢者にやさしいものにする
- ◇病院を誘致する
- ◇老人と子どもが自由に触れ合えるような広場を整備する
- ◇高齢者と子どもたちが触れ合えるイベントを企画する
- ◇児童クラブ（高学年）の充実

## ④コミュニケーションがあり安全・安心なまち

- ◇夜道が暗いので「あかり」をつける（電球切れにならないように管理する）
- ◇電柱をなくす
- ◇エマージェンシーマーク（外国人）の設置
- ◇狩野川の清掃をもっと行う
- ◇警察（交通指導）の分野が多いので集約してほしい
- ◇企業と連携して歩道橋を適切に管理する（歩道橋のラッピング広告など）
- ◇自治会の負担を少なくする
- ◇自治会への加入を促進する
- ◇除草などを進め、まちをきれいにする
- ◇ゴミ出しのマナー向上を図る
- ◇コミュニケーション行事に興味を持ってもらう（親が楽しむことで子どもの参加を増やす）

## ⑤その他

- ◇高校生がバイトをできるようにしたい
- ◇公共施設の駐車場の利便性を向上する
- ◇現在の体育館をまずはきれいにする
- ◇策定した計画を確実に実行する
- ◇働く場所を確保するなど、若年者の転出を防ぐ
- ◇若者が地域に残るようにする

### 3 西部地域（Aグループ）

#### 地域づくりのキャッチフレーズ

食の安心、自然あふれる、すべての世代に優しいまち

(キーワード)

- ◇安心・自然・子育て世代・若い世代      ◇目指せ 老人に優しい街 沼津
- ◇食の安心の砦      ◇沼津の食の安心を守る作る街
- ◇自然豊かな子育てしやすいまち      ◇自然と安心とにぎわいのある町へ
- ◇若い世代に住みたい地域を届けたい

#### まちづくりの方向

##### ①豊かな自然環境と歴史資源を生かすまち

- ◇◇自然や歴史資源についての現状把握をまずしっかりする
- ◇保全を含む整備を進めてから活用する
- ◇市主導で荒地や山林の整備、水害防止を進める（鹿◇猪の減少につながる）
- ◇興国寺城の整備を進める（ららぽーとからの誘客を図る）
- ◇他市と連携した案内板等の整備を進める
- ◇◇海を使った釣り堀を整備する

##### ②住みやすさを感じるまち

- ◇愛鷹スマートインターチェンジ及び新東名スマートインターチェンジへの道路を通行しやすいように改善する
- ◇東駿河湾環状道路の原地区までの事業化を1日も早く実現させる
- ◇国一から県道までの南北道路を拡充させる
- ◇子育てしやすいまちづくりを進める
- ◇放課後児童クラブの待機児童対策を進める
- ◇まちのスリム化やコンパクト化を進める
- ◇地域内の諸団体のつながりを深める
- ◇ららぽーとの渋滞対策を進める（安心して買い物ができるまちづくり）
- ◇公園を家族にとって身近で楽しめるものにする
- ◇買い物に行くのが困難な高齢者の支援

- ◇地域役員の仕事を軽減する
- ◇地域活動への積極的な参加（過度な負担にならない範囲で）
- ◇30～40代の若い世代を活かすまちづくり（自治会等）
- ◇軽スポーツを通して地域の一体感を高める

### ③活気とにぎわいのあるまち

- ◇企業誘致や線引きの見直し（都市計画）などで雇用の場を創出し、若者の定着を図る
- ◇ららぽーとと地元のお店とのバランスをとる
- ◇地域の行事に地元企業（大型店舗）が協力する
- ◇他市町村との連携を進める
- ◇学園都市としてのまちづくりを進める
- ◇◇大学を設置する
- ◇大企業化を推進する（農業の企業化など）
- ◇沼津の名物（沼津でしか食べれないものなど）を作って誘客を図る
- ◇第三セクターを設置する（農地、環境、産業、防災など）
- ◇若者を集める
- ◇アミューズメントパークを誘致する
- ◇土地利用の仕組みづくり
- ◇車両基地を使ったイベント

### ④安全・安心なまち

- ◇災害等施設のバリアフリー化を進める
- ◇防犯カメラの設置に対して積極的に支援する
- ◇◇自然豊かな浮島の田畑を乱開発による水害から守るため、遊水地や自然公園を整備する
- ◇学校等の体育館を活用した避難所の整備
- ◇事業計画や市内の現状について、定期的に市民に説明する機会を増やす

## 4 西部地域（Bグループ）

### 地域づくりのキャッチフレーズ

つくろう広場 つながろう み◇ん◇な

（キーワード）

◇3世代、4世代がゆったりのびのび暮らせる ◇色々な世代が集まる→交流

### まちづくりの方向

#### ①豊かな自然環境と歴史資源を活かすまち

〈地域資源の活用（観光）〉

◇地域の宝を活用する（マップ作り、宝巡りイベント）

◇観光客用のパンフレットを充実させる

◇高橋川のヒガンバナを放水路まで植える

◇自然と歴史を活かした地域毎の観光全般のガイドマップの作成（現在は西部地域が希薄）

◇人を呼ぶ魅力を発信する事業（イベント）を継続性のあるものとし、商店街以外でも開催する

〈地域資源の活用（農業）〉 ※「3. 活気とにぎわいのあるまち」にも含まれる

◇山間地を利用して農業体験できる宿泊施設を作り、市外の人に来てもらう

◇地場製品の強化充実

◇地場製品の販売所の設置（KAUーラ（西部産直市）より大規模なもの）

◇切り干し芋の名物化

◇ららぽーとと沼津駅間での自動運転バスを導入する

#### ②住みやすさを感じるまち

〈高齢者支援〉

◇高齢者の買い物を支援する

◇医療機関を一定のエリアに集約して利便性を高める

◇高齢者のゴミ捨てを支援する

◇高齢者の移動手段を確保する（車がなくても暮らせるまちづくり）

◇高齢者宅へのお手伝い事業の実施（中学生によるゴミ出しや自治会による草刈り）

など)

- ◆単身高齢者家庭の見守り（小学生◇中学生とのふれあいなど、顔と顔を合わせての見守り）

〈子育て支援〉

- ◇地区センターや公民館など、学生が勉強できるスペースを開放する
- ◇小・中学校のグラウンドや体育館をもっと開放する（スポーツで盛り上げる）
- ◇子育て支援の手当てを充実させる
- ◇小さい子どもたちの遊び場を整備する
- ◇公立の図書館を設置する
- ◇ボール遊びができるような公園を整備する
- ◇児童館、図書館等の居場所づくりを進める

〈地域のつながり〉

- ◇地区センターを建て替える
- ◆ボランティア組織の充実を図る
- ◆コミュニティ同士の協働イベントなどで地域同士のつながりを強める
- ◆HPを作成してコミュニティ行事等を発信する
- ◆消防団員を増やす取組を進める

### ③活気とにぎわいのあるまち

〈産業〉

- ◇雇用拡大の施策を推進する
- ◇市内在勤者への特典をつくる

### ④安全・安心なまち

〈通学路〉※「2. 住みやすさを感じるまち」にも含まれる

- ◇旧道を通学路として安全に歩けるように整備する
- ◇通学路の安全・安心の確保（特に朝の混雑時）

〈道路整備〉※「2. 住みやすさを感じるまち」にも含まれる

- ◇道路・歩道の安全・安心を確保する
- ◇根方県道の早期延伸を進め、浮島地区と接続させる
- ◇片浜池田線や三島富士線の道路整備を進める

〈防災〉

- ◇備蓄倉庫内の防災用品についての周知を図る（毛布の数、水、食品などは避難者数をカバーするものではないことを知らない人が多い）
- ◇沼川護岸の整備、浚渫を進める
- ◆災害時協力に向けた市民と民間を結ぶようなイベントの開催

## 5 南部地域（Aグループ）

### 地域づくりのキャッチフレーズ

地域の絆を持って自然を活かした災害に強い安全・安心なまち

（キーワード）

- ◇自然を活かした安全で住みやすいまち
- ◇年寄りと子どもが安心して住める町
- ◇強い絆をもち、災害、困難が起きても強く希望をもって生きていける街
- ◇防災に強く、自然豊かな暮らしやすい南部地域
- ◇少子高齢化でも安心、安全なまち
- ◇災害に強い、住みよいまち
- ◇自然と文化に恵まれた、住んで安全なまち

### まちづくりの方向

#### ①自然・地域資源を活かしたまち

〈沼津アルプス〉

- ◇沼津アルプスを活かすために駐車場を整備する

〈ゴミ拾い〉

- ◇海にゴミを捨てない、放置しない（特に釣り人）
- ◇県道、海岸線のゴミ拾い
- ◇地域の清掃活動を進める

〈サイクリング〉

- ◇サイクリストの誘客に向けた道路の整備を進める

〈下水道〉

- ◇下水道の整備（上香貫地区など）

#### ②住みやすさを感じるまち

〈公園〉

- ◇公園を整備する
- ◇公園に遊べる用具を設置する
- ◇子どもたちが自然に集まれる場所づくりを進める

〈病院〉

◇◇病院を誘致する

〈高齢者〉

◇◇高齢者（特に単身者）の見守り

〈教育〉

◇◇教育環境を充実させる

〈公共交通〉

◇◇公共交通の少ない地区にバス路線を整備する

◇◇高齢者の買い物移動等のため、公共交通機関（ワンコインバスの様なもの）を整備する

◇◇移動販売車などを運営する

〈コミュニティのあり方〉

◇◇コミュニティや自治会の役員の後継者（特に若い人）不足の解消

◇◇地域活動をスリム化させる

◇◇地域のイベントに積極的に参加する

〈空き家対策〉

◇◇空き家を解体しやすくする（ハードルとなっている税制面での対応など）

◇◇空き家の防犯対策を進める

### ③活気あふれるまち

〈商店〉

◇◇商店を誘致する

◇◇道路整備に合わせて、大平地域に滞留できるような施設を整備する

〈施設の活用〉

◇◇旧静浦中学校を活用する

〈ラブライブ〉

◇◇インスタ映えするスポットを整備する

◇◇コスプレができるトイレ付きの脱着場（廃校や空き家などを活用）

◇◇ラブライブデザインの住民票等、オリジナル婚姻届

〈情報発信〉

◇◇情報や魅力を積極的に発信する

〈働く場づくり〉

◇◇漁業の6次産業化（いけすやなど）や施設整備を進める

◇◇西浦の山林や市有地を有効活用する（鳥獣害を抑制する）

◇◇働く場所づくり（遊休地・施設の活用）

◇◇企業誘致に向けた資金的補助や宣伝、斡旋などの支援

◇就職した際の市民特典の付与

〈くるら戸田〉

◇くるら戸田を高齢者が活用できるように送迎を支援する

〈農業〉

◇農業振興施策の推進（固定資産税の軽減など）

〈ロシア交流〉

◇◇外国（特にロシア）の交流を推進する

◇◇戸田小学校生徒のロシア大使館訪問による交流の推進

#### ④安全・安心なまち

〈消防団員〉

◇消防団員の確保

〈歩道〉

◇安全に通れる歩道を整備する

◇バス停を整備する

〈地震対策〉

◇地震対策を充実させる

◇津波で流されないよう漁協の油タンクを移動させる

〈津波対策〉

◇防波堤の整備など津波対策の計画を定める

〈防災無線〉

◇防災無線を聴き取りやすいように改善する

◇防災ラジオをまずは高齢者宅に配備する

〈避難訓練〉

◇◇避難所訓練（HUG）を全住民に実施する

※その他

◇◇高齢化等を見据え、海外のように車イス等でも運転できる車両の導入促進

## 6 南部地域（Bグループ）

### 地域づくりのキャッチフレーズ

自然と共存し、人にやさしいもう一度来たくなるいやしのまち

(キーワード)

- ◇自然と共に生きる町、共存
- ◇住みよい環境を目指すまち、南部地域
- ◇豊かな自然を生かしたリピーターの増えるまち
- ◇自然と文化と人が集う古くて新しい地域
- ◇富士を見て住んでよし遊んでよし三浦
- ◇人間にやさしい街
- ◇心も自然も暖かないやしの町
- ◇提案した事項を実行してほしい

### まちづくりの方向

#### ①自然・地域資源を活かしたまち

- ◇沼津アルプス、鷲頭山、発端丈山のハイキングコースを地域住民全員参加で整備する
- ◇海岸線の道路整備を進める
- ◇駐車場、トイレ、休憩所を整備する

#### ②住みやすさを感じるまち

- ◇40代～50代の地区活動への積極的な参加を促す
- ◇買い物等に係る交通の利便性を高める
- ◇地域外の人を受け入れる体制を整える
- ◇地域活性化や地域の安定に対するアイデアを地域住民で考える
- ◇独居老人が増加しているので、近所の声かけや見守りをする
- ◇地域活動を常に複数の団体で実施し、参加者を増やす
- ◇地域活動のスリム化、若い世代が参加しやすい
- ◇公共交通（バス）の見直しによる利便性の向上を図る
- ◇積極的に地域の行事に参加する

- ◇自治会の役員のなり手不足を解消する
- ◇あいさつをかけあうことを地域の基本事項とする
- ◇交通乗り入れへの参入
- ◇子どもたちが集い、集まれる公園を整備する
- ◇コミュニティバスの運行（高齢者の買い物対策）
- ◇環境づくりを積極的に行う
- ◇空き家等の情報を公表する
- ◇道路の整備（災害対策）を進める
- ◇市中心部への道路を整備する
- ◇生活道路を整備する（静浦→内浦、西浦◇戸田の海岸線の道路など）
- ◇公共交通機関との連携を図る
- ◇バス停が原因で発生する渋滞への対策を進める

### ③活気あふれるまち

- ◇農家（みかん）や漁業体験などを通じた移住の促進
- ◇農地の休耕地情報を提供する
- ◇沼津アルプスを活用した交流人口の拡大を図る（トイレ、バス駐車場の整備等）
- ◇「釣り」を活用した地域振興を図る（釣り人のマナー向上、漁師とのコミュニケーションの推進、駐車場の整備など）
- ◇狩野川の活用を進める
- ◇体育館、学校（廃校）をすぐに活用する（民間で活用する）
- ◇東京に近いことを利用し、地場製品のPRによる沼津の産業の活性化を図る
- ◇みかん以外の品種改良等を進める
- ◇空き家を利用した産業の提案など、活用方法を検討する
- ◇移住者を受け入れる機運の醸成を図る
- ◇他地域の先進的な取組事例の情報を提供する
- ◇子ども世代に活力のある政策を検討する
- ◇新たな交通の検討や道路整備の推進

### ④安全・安心なまち

- ◇地域活動や消防団活動での民間企業と若い人たちとの連携を推進する。
- ◇病院を誘致する
- ◇市立病院の利便性を高める
- ◇災害に強いまちづくりを進める
- ◇災害時の防災無線での発信方法を改善する
- ◇沼津アルプストンネルを開通後は避難地としての受け入れができるようにする

- ◇津波・高潮対策を進める（防潮堤の設置など）
- ◇風水害発生時における避難所運営や避難者受け入れ体制を見直す